

(法第28条第1項関係様式)

平成28年度活動報告

(平成28年4月1日から平成29年3月31日)

特定非営利活動法人 みやざき教育支援協議会

活動の成果

教職員の多忙化が社会問題化するなかで、その軽減手段として、校務の一部を外部委託する状況も生まれつつありますが、財政的な厳しさもあってその解消はなかなか進んでいません。しかし、学校と外部支援団体との信頼関係や連携協力のあり方を検討する必要があります。

また、生活困窮世帯やひとり親世帯が増えるなかで「貧困の連鎖」を断ち切る学習支援が大きな課題となりました。少子化とは裏腹に引きこもりや発達障害児者は増加傾向にあり、関係機関から当法人への相談も増えつつあります。プログラミングやICT資格取得、高卒認定試験などへのニーズに応えるため、実態の把握や学習支援のあり方を研究することが必要です。

教育の情報化を図る調査研究事業として、教育ICT研修会や教育ICTフォーラムを行いました。参加者を増やすことはできませんでした。また、宮崎県高等学校教育研究会情報部会の研修会を協力して行いましたが、計画した「教育の情報化実態調査」は担当教員の多忙化などにより行えませんでした。

また、県内の中高校生を対象に数学検定用の学習教材「ユニバーサル数学」を継続して無償提供し、Eラーニングの効果実証研究を行いました。しかし、その利用者も減少傾向にあり、成果をまとめることができませんでした。

教育現場の情報化を支援する事業については、委託事業として宮崎大宮高等学校に第1四半期のみICT支援員を派遣しました。財政的な厳しさや外部監査の指摘により、ICT支援員の派遣が困難になりました。現場の教職員の多忙化に拍車をかける状況にあります。単発的に支援協力を行いました。

また、事務処理システム「スクールプロ」のサポートを(株)九州ジェービーエーと協力して行いました。県内の県立学校を年2回以上巡回訪問し、操作説明からバージョンアップのインストールやデータコンバートなどをサポートすることで、事務の効率化を支援しました。学校現場とのつながりを深めることは、校務の情報化に向けてさらに協力体制を作ることになりました。

独立行政法人福祉医療機構(WAM)の社会福祉振興助成金事業は、今回、一般社団法人みやざき公共・協働研究会が「貧困世帯の子どもの居場所づくりと学習支援」として受託し、その連携団体として昨年に引き続き取り組みました。数値的な成果はありませんでしたが、学習場所が居場所として定着しつつあり、さらにインターンシップを通して、今後の自立就労支援につなげる展望が開けてきました。WAM事業の報告会を兼ねたシンポジウムを昨年に引き続き主催し、貧困問題について多くの関係者と協議することができました。

文化交流事業では、広報活動としての機関誌「メスカジャーナル」は発行することができませんでした。また、地元企業のJICA事業コンサルタントを計画していましたが、6月に起きたバン格拉デシュ国ダッカでの日本人殺害テロにより中止となり、その後、この事業は他のNPO法人に引き継いでもらうことになりました。

第1号議案

活動内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 教育の情報化を図る調査研究活動

ア 教育 ICT 研修会

- 日 時：2016年5月29日（日）14:30～16:30
- 会 場：宮崎県福祉総合センター本館セミナールーム
- テーマ：「中年 ICT オタク私の趣味ーこんなことやってるよ」
 - 1、視覚型シミュレーションソフト STELL の魅力（高見 晋一氏）
 - 2、二次元 CAD/CAM ソフトの開発（外山 真也氏）
 - 3、芸術動画（メタアニメアート）の作成（武石 秀男氏）
- 参加者：13名

イ 教育 ICT フォーラム

- 日 時：2016年11月27日（日）13:30～16:30
- 会 場：宮崎県福祉総合センター本館セミナールーム
- テーマ：「タブレットは効果的か？」
 - 1、iPadでのEvernote活用、カメラ、クラウドを使って仕事・生活・勉強に活かす（吉元 寿林 氏ミリョク・ラボ代表）
 - 2、生物授業でのタブレット活用とクラス動画作成の指導（村上 啓一 氏小林高校教諭）
 - 3、教材提示の方法と使用機材、およびアプリの紹介（久保田 博道 氏宮崎産業経営大学教授）座談会：「タブレットは効果的か？」～タブレットの可能性と限界～
- 参加者：8名

ウ 宮崎県高等学校教育研究会情報部会研修会

- 日 時：11月18日（金）
- 会 場：宮崎公立大学共同研究室
- 内 容：授業実践報告 大谷光氏 埼玉県立庄和高等学校教諭

② 教育現場の情報化を支援する活動

ア 教育 ICT 支援

- 実施時期 平成28年4月～平成28年6月
- 対 象 宮崎大宮高等学校
- 実施内容 校内 LAN 等校務情報化支援（延べ36日）

イ 事務処理システム「スクールプロ」サポート

- 実施時期 平成28年4月～平成29年3月
- 対 象 県立学校50校、(株)九州ジェービーエー
- 実施内容 現場巡回サポート（延べ30日）、ニーズ調査、バージョンアップ動作確認等
- 定例会 4/5, 4/12, 5/6, 6/14, 8/10, 9/13, 10/12, 11/9, 12/7, 1/14, 1/31, 3/7

第1号議案

ウ 引きこもり、精神障がい者の自立・就労支援（「楽々web工房」事業）

- 実施時期 平成28年9月～平成29年3月
- 受託先 宮崎西高等学校、宮崎県立事務職員協会
- 実施内容 Webサイト作成
- 定例会 11/26, 12/17, 1/21, 2/18, 3/18

エ 貧困世帯の子どもの居場所づくりと学習支援事業

（一般社団法人みやざき公共・協働研究会との連携事業）

- 実施時期 平成28年9月～平成29年3月
- 場 所 NPO法人宮崎県ボランティア協会、南駅前ふれあいサロン
- 対 象 小学生、中学生、高校生、若者など12名
- 実施内容 MOS資格取得、プログラミング、ユニバーサル数学など
- 回 数 合計482時間
- シンポジウム（事業報告会）の開催

① 目 的 「子ども・若者の貧困を考えるシンポジウム」と題して、各機関、市民団体、個人が集まり、貧困の実態と支援のあり方について自由に話し合い、今後の活動に活かす。

② 開催日 平成29年3月12日（日）13:30～16:30

③ 場 所 宮崎県福祉総合センターセミナールーム

④ 内 容 講演『ソーシャルワークから見た子ども・若者の貧困と支援のあり方』

若宮 邦彦氏（南九州大学准教授）

井戸端会議 第一部『こんなことがあったよ』、第二部 『つながりたいね』

パネリスト 嶋田喜代子氏（宮崎市議）、山元 絵美氏（スクールソーシャルワーカー）、
富井 真紀氏（宮崎プレミアム食堂代表）

コーディネーター 亀澤 克憲（NPO法人みやざき教育支援協議会代表理事）

⑤ 参加者 68名